

## 令和4年度 大阪府立大阪南視覚支援学校

# 学校教育自己診断の結果について

このたび、児童・生徒・学生の皆さんや保護者・保証人の皆様には学校教育自己診断にご協力いただき、ありがとうございました。

本校では、学校教育改善の方策を明らかにするため、学校教育自己診断を行い、頂いたご意見を学校運営や教育活動に活かしてきました。

アンケート結果は「児童・生徒・学生」「保護者・保証人」「教職員」の3つに分けて集計しました。質問ごとに、今年、過去2年間、各学部ごとの結果を数値化、また今年の結果については「肯定」・「否定」・「わからない」の割合を比較しやすいように帯グラフを作成し、本校の学校運営や教育活動が皆様のニーズに対応しているかどうかなどを比較、検討しました。この診断により、現在の課題が明らかになり、今後の学校運営や教育活動を見直すきっかけになると考えています。

また、この結果をふまえ、学校運営協議会委員の方々のご意見もいただき、学校長の「学校経営計画」に反映させ、今後の教育活動をより豊かなものにしていきたいと思います。

## 1 アンケートの方法

「保護者・保証人用」、「児童・生徒・学生用」（小学部児童用、中学部生徒用、高等部生徒用、専修部学生用）、「教職員用」という質問用紙を、令和4年10月に配付して実施しました。

回収率は、次の表のとおりです。

	提出率(%)	昨年度提出率(%)	一昨年度提出率(%)
児童・生徒・学生	73	71	91
保護者・保証人	87	77	82
教職員	94	96	70

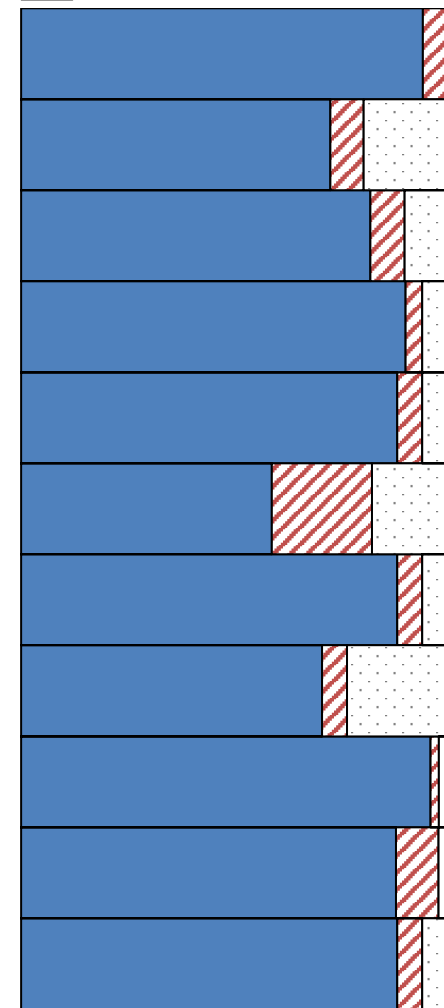
## 2 評価・集計方法

- i) 小学部児童は、質問に対し「はい、いいえ、わからない」の3段階で回答しました。
- ii) その他は、質問に対し「とてもそう思う、すこしそう思う、あまりそうは思わない、まったくそうは思わない、わからない」の5段階で回答しました。
- iii) 「はい、とてもそう思う、すこしそう思う」を肯定的評価とし、「いいえ、あまりそうは思わない、まったくそうは思わない」を否定的評価として集計し、グラフで表示しました。

### 集計結果(児童・生徒・学生)

			R4 肯定	R4 否定	R4 わからない	R3 肯定	R3 否定	R2 肯定	R2 否定	幼小 肯定	幼小 否定	中 肯定	中 否定	高 肯定	高 否定	専 肯定	専 否定
1	学校全般	学校に行くのがたのしいかどうか	92%	8%	0%	89%	9%	79%	13%	100%	0%	100%	0%	100%	0%	86%	14%
2	進路	一人ひとりに応じた進路学習	71%	8%	21%	75%	7%	58%	20%	20%	0%	77%	8%	83%	17%	75%	7%
3	生徒指導	悩みを相談できるシステムの有無や相談できる教職員の有無	80%	8%	12%	77%	16%	75%	13%	50%	0%	69%	23%	100%	0%	86%	4%
4	生徒理解	教職員の幼児・児童・生徒・学生の障がいについての理解	88%	4%	8%	86%	12%	78%	5%	40%	0%	100%	0%	100%	0%	89%	7%
5	授業	わかりやすい授業の実施	87%	6%	8%	91%	9%	85%	5%	80%	0%	85%	8%	100%	0%	86%	7%
6	授業	ICTを活用した教育の取り組み	58%	23%	19%	65%	23%	60%	22%	40%	20%	54%	15%	100%	0%	54%	32%
7	人権教育	幼児・児童・生徒・学生に対する積極的な人権教育の推進	87%	6%	8%	80%	14%	75%	15%	100%	0%	77%	8%	100%	0%	86%	7%
8	人権教育	いじめなどの行為に対して適切に対応しているか	69%	6%	25%	63%	12%	55%	5%	100%	0%	69%	0%	100%	0%	57%	11%
9	学校安全	地震や火災など非常時の対応方法が適切に教えられているか	94%	2%	4%	96%	2%	83%	10%	100%	0%	92%	0%	100%	0%	93%	4%
10	学校生活	通学路は視覚障がい者にとって安全に整備されているか	86%	10%	4%	84%	11%	60%	25%	100%	0%	92%	8%	67%	17%	86%	11%
11	学校生活	スポーツフェスティバルや文化祭など学校行事が楽しいかどうか(専)学科の行事が有意義かどうか	87%	6%	8%	74%	18%	/	/	80%	0%	92%	8%	100%	0%	82%	7%

肯定的意見
  否定的意見  
 わからない



#### <児童・生徒・学生の集計結果について>

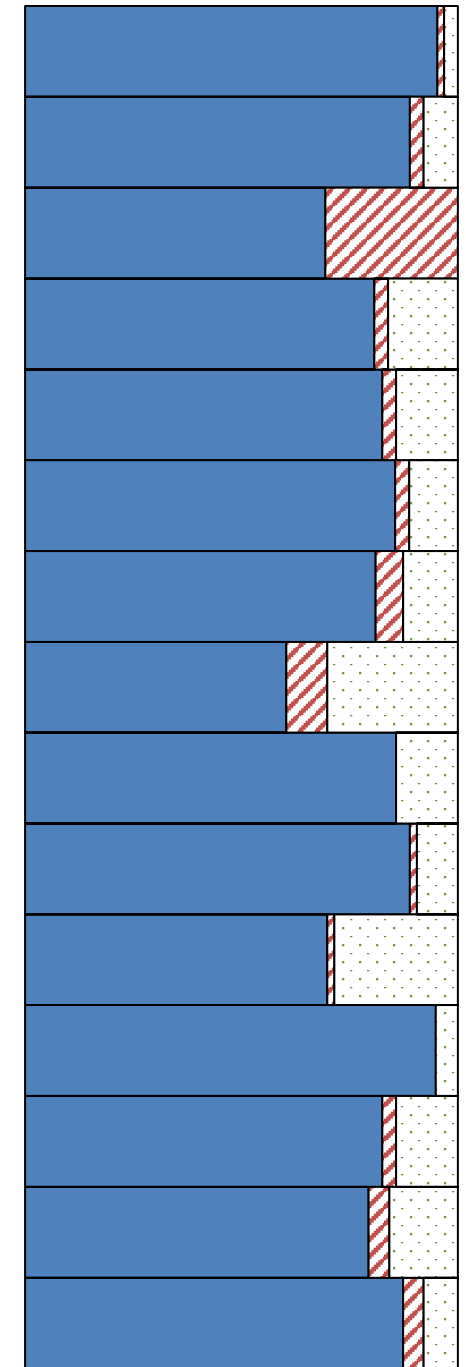
- 11項目中、肯定的意見が70%以上のものは9項目(①～⑤、⑦、⑨～⑪)あった。
- ・9項目中6項目(①、③、④、⑦、⑧、⑩、⑪)において、昨年度より数値があがっている。特に⑪『学校行事が楽しいか』は前年度より13%あがっている。コロナによる制限が緩和され学校行事が多く実施できたためと考えられる。②『進路』では、小学部では「わからない」が多く、肯定的意見の数値は高くないが、否定的意見の数値は低い。
- 肯定的意見が70%を下回るものは、2項目(⑥、⑧)であった。
- ・⑥『ICTを活用した授業の取り組み』については、学部による差があり、小学部・中学部・専修部で肯定的意見が60%以下となっているが、高等部では100%という高い数値となっている。
- ・⑧『いじめなどの行為に対して適切に対応しているか』は、肯定的意見は69%であるが、小学部と高等部は肯定的意見が100%と高い評価を得ている。また、中学部および専修部も否定的意見は高くなく、いじめなどの行為を身近に感じたことがないために『わからない』との回答が多くなったものと推測される。

#### <保護者・保証人の集計結果について>

- 15項目中、肯定的意見が70%以上のものが13項目(①、②、④～⑦、⑨～⑮)あった。
- ・肯定的意見の数値が昨年度より下がっているものが10項目あるが、否定的意見の数値は概ね昨年度より下がっている。
- 肯定的意見が70%を下回るものとしては、2項目(③、⑧)であった。
- ・③『保護者の学校行事の参加』については、専修部の数値が低いことが影響している。幼小・中・高の肯定的意見の数値は少しずつ上がり、コロナ禍以前のように行事が再開し、参加が増加したものと考えられる。
- ・⑧『ICTを活用した教育の取り組み』については、児童・生徒・学生の結果と同じく学部による差があり、幼小学部・中学部・専修部で肯定的意見が60%以下となっているが、高等部では100%という高い数値となっている。否定的意見は高くはないことから、授業等でICTを活用しているかどうかかわからないことも原因の1つと考える。

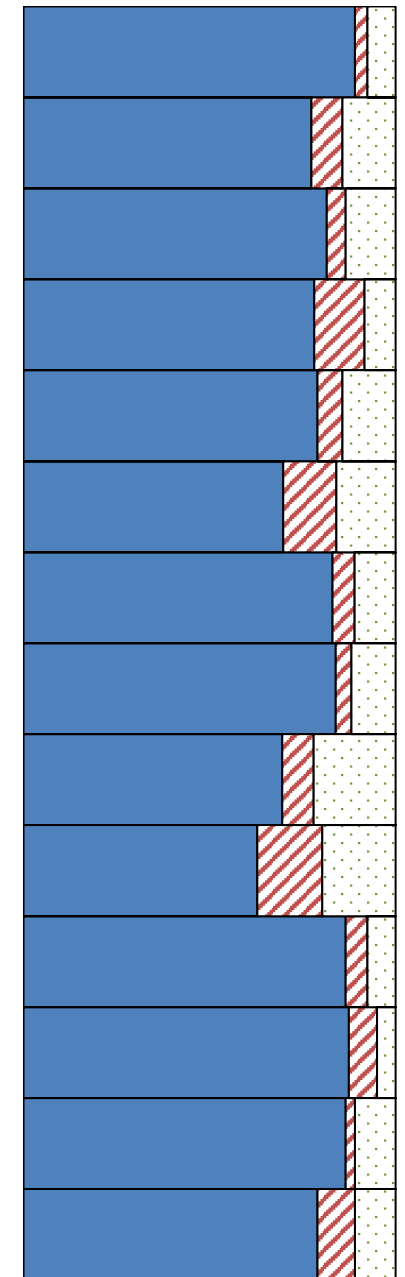
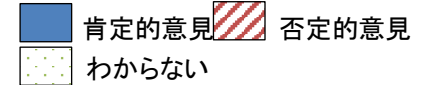
集計結果(保護者・保証人)

			R4 肯定	R4 否定	R4 わからない	R3 肯定	R3 否定	R2 肯定	R2 否定	幼小 肯定	幼小 否定	中 肯定	中 否定	高 肯定	高 否定	専 肯定	専 否定
1	学校全般	学校に行くのがたのしいかどうか	95%	2%	3%	90%	8%	96%	4%	100%	0%	100%	0%	100%	0%	87%	4%
2	保護者・保証人との連携	学校による情報の周知徹底	89%	3%	8%	93%	7%	90%	6%	94%	6%	87%	0%	100%	0%	83%	4%
3	保護者・保証人との連携	保護者の学校行事の参加	69%	31%	0%	66%	34%	63%	6%	100%	0%	93%	7%	86%	14%	26%	74%
4	進路	一人ひとりに応じた進路指導	81%	3%	16%	90%	7%	80%	8%	82%	0%	93%	0%	86%	14%	70%	4%
5	生徒指導	悩みを相談できるシステムの有無や相談できる教職員の有無	83%	3%	14%	89%	7%	82%	8%	83%	0%	80%	13%	100%	0%	78%	0%
6	生徒理解	教職員の幼児・児童・生徒・学生の障がいについての理解	85%	3%	11%	92%	5%	88%	8%	94%	0%	87%	0%	86%	14%	78%	4%
7	授業	わかりやすい授業の実施	81%	6%	13%	88%	10%	85%	10%	94%	0%	80%	7%	100%	0%	65%	13%
8	授業	ICTを活用した教育の取り組み	60%	10%	30%	77%	10%	70%	6%	50%	6%	60%	13%	100%	0%	57%	13%
9	人権教育	幼児・児童・生徒・学生に対する積極的な人権教育の推進	86%	0%	14%	87%	8%	81%	10%	89%	0%	93%	0%	100%	0%	74%	0%
10	人権教育	日常の教育活動における幼児・児童・生徒・学生の人権の尊重	89%	2%	10%	87%	8%	81%	10%	94%	0%	87%	0%	100%	0%	83%	4%
11	人権教育	いじめなどの行為に対して適切に対応しているか	70%	2%	29%	77%	5%	71%	8%	56%	0%	87%	7%	86%	0%	65%	0%
12	教育課程	幼児・児童・生徒の実態に応じた教育課程の編成(専修部以外)	95%	0%	5%	89%	0%	91%	3%	94%	0%	93%	0%	100%	0%	/	/
13	学校安全	地震や火災など非常時の対応方法が適切に教えられているか	83%	3%	14%	90%	2%	81%	8%	67%	0%	93%	0%	100%	0%	83%	9%
14	学校生活	通学路は視覚障がい者にとって安全に整備されているか	79%	5%	16%	87%	8%	60%	27%	83%	0%	87%	7%	86%	0%	70%	9%
15	学校生活	スポーツフェスティバルや文化祭など学校行事が楽しいかどうか(専)学科の行事が有意義かどうか	87%	5%	8%	90%	7%	/	/	89%	0%	93%	7%	100%	0%	78%	9%

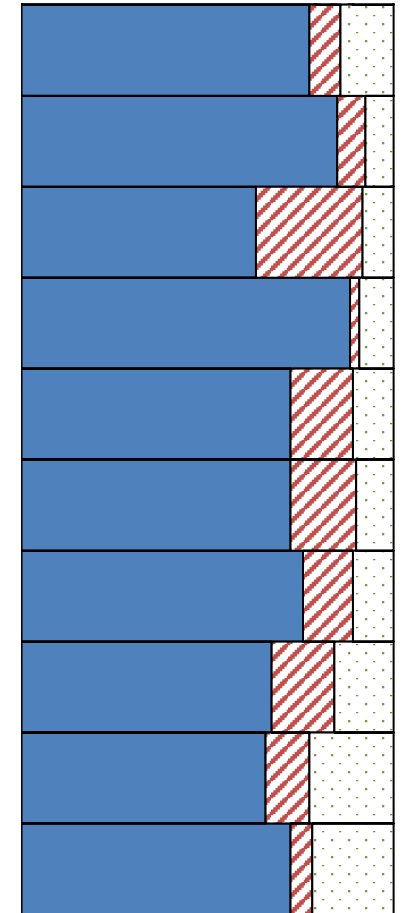


# 集計結果(教職員)

			R4 肯定	R4 否定	R4 わからない	R3 肯定	R3 否定	R2 肯定	R2 否定	幼小 肯定	幼小 否定	中 肯定	中 否定	高 肯定	高 否定	専 肯定	専 否定	行政 肯定	行政 否定	寄宿 肯定	寄宿 否定
1	保護者・保証人との連携	学校による情報の周知徹底	89%	3%	8%	90%	2%	84%	7%	100%	0%	95%	5%	95%	5%	97%	0%	50%	0%	80%	13%
2	進路	一人ひとりに応じた進路指導	77%	8%	14%	78%	7%	81%	1%	88%	6%	90%	10%	90%	5%	75%	19%	36%	0%	73%	0%
3	生徒指導	悩みを相談できるシステムの有無や相談できる教職員の有無	82%	5%	13%	82%	6%	88%	8%	88%	6%	85%	10%	90%	5%	88%	3%	29%	0%	93%	7%
4	生徒理解	教職員の幼児・児童・生徒・学生の障がいについての理解	78%	13%	8%	89%	5%	78%	7%	88%	12%	85%	15%	86%	14%	88%	9%	29%	7%	73%	27%
5	授業	わかりやすい授業の実施	79%	7%	14%	83%	3%	81%	2%	100%	0%	90%	10%	95%	5%	91%	3%	36%	0%	33%	27%
6	授業	ICTを活用した教育の取り組み	70%	14%	16%	71%	12%	65%	12%	65%	35%	85%	15%	100%	0%	63%	25%	29%	0%	67%	0%
7	人権教育	幼児、児童、生徒、学生に対する積極的な人権教育の推進	83%	6%	11%	75%	11%	65%	17%	82%	18%	95%	5%	95%	0%	84%	9%	36%	0%	93%	0%
8	人権教育	日常の教育活動における幼児、児童、生徒、学生の人権の尊重	84%	4%	12%	81%	9%	75%	9%	100%	0%	95%	5%	95%	5%	81%	9%	36%	0%	86%	0%
9	人権教育	いじめなどの行為に対して適切に対応しているか	69%	8%	22%	68%	11%	66%	7%	71%	18%	80%	20%	85%	10%	78%	3%	14%	0%	67%	0%
10	教育課程	幼児、児童、生徒の実態に応じた教育課程の編成(専以外)	63%	17%	20%	67%	13%	65%	13%	65%	35%	65%	30%	95%	0%	/	/	36%	0%	36%	21%
11	学校安全	地震や火災など非常時の対応方法が適切に教えられているか	87%	6%	8%	89%	4%	79%	5%	88%	12%	95%	5%	90%	10%	91%	6%	50%	0%	93%	0%
12	学校生活	通学路は視覚障がい者にとって安全に整備されているか	87%	8%	5%	89%	7%	71%	13%	100%	0%	95%	5%	100%	0%	78%	19%	64%	0%	87%	13%
13	学校行事	スポーツフェスティバルや文化祭など学校行事が楽しいかどうか(専)学科の行事が有意義かどうか	87%	3%	11%	87%	5%	73%	9%	100%	0%	95%	5%	90%	5%	91%	3%	43%	0%	87%	0%
14	学校運営	教育活動についての教職員同士の日頃の話し合いや意思の疎通	79%	10%	11%	82%	10%	64%	17%	94%	6%	95%	5%	95%	5%	69%	28%	29%	0%	87%	0%



15	学校運営	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしているか	77%	8%	14%	79%	9%	66%	11%	88%	6%	90%	10%	86%	14%	81%	13%	29%	0%	73%	0%
16	学校運営	個人情報適切に管理しているか	85%	8%	8%	84%	9%	75%	9%	94%	6%	80%	20%	95%	5%	84%	9%	50%	0%	100%	0%
17	学校運営	働き方改革がすすめられているか	63%	29%	8%	59%	30%	62%	19%	65%	35%	70%	30%	71%	29%	59%	38%	29%	21%	80%	7%
18	学校運営	校長は、自らの教育理念や学校運営についての考え方を明らかにしているか	88%	3%	9%	88%	3%			94%	6%	90%	10%	95%	0%	97%	0%	43%	0%	93%	0%
19	学校運営	各分掌や各部・学年間の連携が円滑に行われ、うまく機能しているか	72%	17%	11%	79%	15%			94%	6%	85%	10%	81%	14%	66%	31%	29%	7%	73%	20%
20	学校運営	日々の教育活動における問題意識や悩みについて、気軽に相談し合えるような職場の人間関係ができていますか	72%	18%	10%	79%	15%			82%	18%	100%	0%	81%	19%	59%	38%	21%	7%	87%	7%
21	学校運営	校内研修は、教育実践に役立つような内容となっているか	76%	13%	11%	79%	12%			82%	18%	95%	5%	86%	14%	66%	28%	21%	0%	100%	0%
22	学校運営	初任者等、経験の少ない教職員を学校全体で育成する体制がとれているか	67%	17%	16%	73%	15%			76%	18%	90%	10%	71%	24%	63%	31%	21%	0%	73%	0%
23	学校運営	教員の間で授業方法等について、検討する機会が設けられているか	66%	12%	23%	75%	6%			76%	18%	80%	15%	81%	14%	78%	16%	21%	0%	27%	0%
24	学校運営	個別の指導計画について、本人・保護者のニーズを踏まえ作成しているか	72%	6%	22%	78%	5%			100%	0%	95%	0%	90%	5%	66%	16%	29%	0%	40%	7%
			R4 肯定	R4 否定	R4 わからない	R3 肯定	R3 否定	R2 肯定	R2 否定	幼小 肯定	幼小 否定	中 肯定	中 否定	高 肯定	高 否定	専 肯定	専 否定	行政 肯定	行政 否定	寄宿 肯定	寄宿 否定



#### <教職員の集計結果について>

- 24項目中、肯定的意見が70%以上のものは19項目(①～⑧、⑪～⑬、⑱～㉑、㉔)であった。
- ・概ね昨年度と同様の評価であった。
- ・④「生徒理解」は昨年度から肯定的意見が11%減少していた。特に、否定的意見は、幼小学部0%(昨年度)→12%(今年度)、・中学部6%(昨年度)→12%(今年度)であり、幼児・児童・生徒の障がいの重複化・多様化の影響も推察される。
- 肯定的意見が70%を下回るものは、5項目(⑨、⑩、⑰、㉒、㉓)であった。
- ・⑨「いじめなどの行為に対して適切に対応しているか」については、行政で「わからない」が50%程度で、小学部・専修部でも「わからない」が多いために肯定的意見の数値が低い傾向がみられる。
- ・⑩「幼児・児童生徒の実態に応じた教育課程の編成」については、肯定的意見は63%となっており、例年と同程度の数値となっている。評価は学部によって差があり、肯定的意見は幼小学部と中学部で65%と低く、高等部では95%と高くなっている。毎年、幼児・児童・生徒の実態が変わる中、日頃の教育活動について意見を出し合い、できるかぎり幼児・児童・生徒の実態に配慮した教育課程を検討していく。

- ・⑰「働き方改革がすすめられているか」については、各学部において否定的意見が29～38%であった。長時間労働をなくし、年次有給休暇を取得しやすくすること等によって、個々の事情にあった多様なワーク・ライフ・バランスの実現が求められている。引き続き、業務の精選および効率化や定時退庁の励行、ノークラブデイの設定等を行う。
- ・⑲「初任者等、経験の少ない教職員を学校全体で育成する体制がとれているか」については、各学部において否定的意見の数値が10～31%であった。今後も、初任者・新転任者に対する研修やサポートを充実させるとともに、学校全体で協同的な職場環境が醸成されるように創意工夫を続けていく。
- ・㉓「教員の間で授業方法等について、検討する機会が設けられているか」については、行政・寄宿で「わからない」が70%以上であるが、各学部においては80%程度の高い肯定的意見の数値となっている。今後も、幼児・児童・生徒の実態に合わせた授業方法等を検討し、よりよい学校生活を送ってもらえるよう研鑽を積んでいく。

# 令和4年度 学校教育自己診断 自由筆記一覧

学校教育自己診断へのご協力ありがとうございました。お寄せいただいたご意見を項目ごとに、保護者・保証人、児童・生徒・学生の順でまとめ、学部ごとに内容を記載しています。

原則原文をそのまま転記していますが、文法的に表現を改めたところ、内容をわかりやすくするため加筆したところ、さらに内容によっては、省略・修正などをしたところがあります。なお、小学部児童に対しては、「先生にお願いしたいことや言いたいことがあれば書いてください。」として自由筆記の質問をひとつだけにしています（回答は1に記載しています）。

## 1. 学校のよいところや今後続けてほしいこと

### ◎保護者・保証人

#### ★幼小学部

- 個人に合わせた設定保育は続けてほしい。
- 学校に気軽に行くことが出来る機会（ぱんだ教室）があるため、開かれていますと感じて安心感がある。
- 校内が綺麗で、清潔感があり、明るくて子供も安心して通うことができる。
- 1人1人に合わせてしっかり対応して下さるので、安心してお任せできます。
- 個別の細やかなお願いについても聞いていただけるので助かっています。
- 畑で収穫して食べたり、実際自分の手で触り確かめながら授業をして

下さり楽しみながら参加できていると思います。

- いつも子どものことをしっかりと考えて色んな方針等、決めてくれていて接して頂けるので安心してしています。ありがとうございます。
  - 生徒一人ひとりが楽しんで自分から進んで物事にとりくんでいけるように、先生方がとてもよく考えて下さっている。子供も楽しんでいるので、新しいこともあまりこわがらずにチャレンジしてくれていると思う。
  - 懇談の際には、日々どんな事をしているのか、とても丁寧に教えて頂き、分かりやすかったです。
  - 授業、日常において、いろいろ工夫して下さり、ありがとうございます。
  - 少しのケガなどでも連絡下さるので安心です。
  - 給食の試食会に参加した際、栄養士の先生がうちの子の苦手食材やこんな風に食べていたなど、私の知らない子供の食を理解して下さっていた。
  - 家庭の事情も理解して頂き、先生方にはとても感謝しています。良い先生ばかりに囲まれて、安心して成長を見ていられます。これからもどうぞよろしくお願いします。
  - 生徒一人に対し、先生が一人ついてるので安心する。
  - 先生方は、いつもいねいに対応してくださっています。娘が手術・入院した際にも、退院後の過ごし方についても、娘によりそって考えてくださっています。安心して登校させることができます。個に応じた対応を、いつもありがとうございます。
  - 一人ひとりの子供に寄り添っていると思います、障がいや特性を理解してくれているので、安心して子供を通わせる事ができています。
- #### ★中学部
- 先生方がとても優しく個別性を大切にして関わってくださっている。生徒数が少ないと思うが、教員の人数配置はそのまま充実させてほしい。
  - 文化祭や体育祭など学年に応じたステージを用意してくれるところ。

小学生は運動会、中学生なりの体育祭、高校生はスポーツフェスティバルと同じ舞台なのに分けてくれるところがすごくよかったです。一人一人の個性を尊重してくれるところ。

- いつもお世話になっております。小から中へと進み勉強について不安がありますが、先生方と連絡をとらせていただきながら子どもの不安の軽減に努めています。とても話しやすい雰囲気です。子どもを真剣に考えてくださっているのが、よく分かります。これからもよろしくお願いします。

#### ★高等部

- やりたいこと、話を聞いてくれていて尊重してくれている。
- 高等部の進路学習の一環で行われている、視覚に障がいをお持ちの先生方の学生時代の努力や経験を聞く機会を作ってください、そのお話を毎日とても刺激を受けて、自分の進路を見つめるきっかけとなっております。本校ならではの素晴らしい取り組みだと思いますので、これからも続けていってほしいです。

#### ★専修部

- 生徒(学生)の必要に配慮くださり様々にサポートして下さりありがとうございます。学校生活を楽しんでいるようです。

### ◎児童・生徒・学生

#### ★中学部

- 学校の行事は楽しい。他学年、中学生、高校生の先輩と話せるのも楽しい。給食おいしい。
- きれいな学校を維持してほしい。

#### ★高等部

- 給食の美味しさ。駅から近い。コンビニ、スーパーすぐそこにある。
- 学校全体がぼくなどの生徒に親密に関わってくれるため、話しやすい先生が良いところだと思います。
- 国際交流がとても良いので、今後も続けていってほしいです。

#### ★専修部

- 解剖実習。実際に触れることにより模型よりも筋肉や骨の構造が理解できるため。
- デジタル器具で勉強できるように対応してほしいです。
- 各教科の先生方が、私たちにわかる様に工夫をして授業をしてくれませう。非常にありがたいです。
- ホームルームと終礼。授業だけでなく、クラスの皆で話す時間を作っていること。
- 担任へ話しやすい雰囲気を作ってもらっているため、何かある時に、話しやすい。
- 専修部は「職業訓練」であるが、学校内であるので、世間一般に比べ親切であたたかい。

#### (学校長より)

- 保護者・保証人の皆様、そして在籍する生徒・学生の皆様からも、貴重なご意見をたくさん頂戴し、感謝申し上げます。
- 幼稚部から高等部までは、少人数教育のメリットを活かし、一人ひとりに応じた個別性の高い指導・支援を行っていることにご理解を頂けており、お子様を安心して通わせられているというお声を頂戴し、大変嬉しく思います。
- 今後とも、幼児・児童・生徒・学生そして保護者・保証人の皆様が安心して通える信頼される学校であられるよう教職員一同、努めてまいります。
- 給食試食会での感想や給食が美味しいとのご意見も頂き、給食に関わる職員も大変嬉しく思っております。今後とも安全安心で美味しい給食の提供に努めてまいります。
- 視覚支援学校ならではの教育(触って確かめる授業や視覚障がいのある教員の経験に基づく話、専修部での解剖実習など)へのご理解も頂きありがとうございます。今後も、点字や歩行指導は勿論、弱視教育や医療に関わる専修部での職業教育などの専門性を高め、本校で学んでよかったと思っただけの学校づくりに努めてまいります。

## 2. 学校教育をよりよいものにするためのご意見・学校教育自己診断票についてお気づきの点

### ◎保護者・保証人

#### ★幼小小学部

- 学校の正門の開けっぱなしがセキュリティー的に気になります。
- いじめの質問ですが、いじめ自体がないので、わからないと書いてしまいました。
- 医療的ケア児の受け入れに対して親への負担が大きい。視覚支援は肢体とは違うという考えなのかもしれないが、インクルーシブ教育のシステムをつくってほしい。ルールだから仕方がない、前例がないではなく、本当に必要なのか、その理由はなぜなのか、親が負担になってまで重要なことなのかを考えてみてほしい。
- 前年度の引継ぎがされてない気がした。子供の事を聞かれないので、こちらもどこまで言ってほしいのか分からないです。
- 看護師が配置されても、普段よく本人を見ている先生などが医ケア出来る様にして欲しい。

#### ★中学部

- 支援学校の学歴資格の見直し。進学への支援、進学先の拡大。
- 初電車通学で朝も早く、疲れてるけど行きたい、行ってよかったということが、やはり、いつも意見をきいてくださっているのだろうと思います。先生方のPTA講習会では、先生の知っている知識や子供達の学校での指導や大人の視点、子供（生徒）の視点を含め、現代の子の考えや、視覚不自由の子の考え方など理解してくれていることがすごくわかりました。その講習会は続けてほしいと思いました。

#### ★高等部

- できる事より、一つ上のことを学ばせてほしい。
- No5 本人の性格の問題であり、先生はいつでも受け身になってくれています。No14 学校外の問題であり、先生は啓発ポスターを張っ

てくれたり、音響信号の要請を求めてくださったり、大変感謝しております。

#### ★専修部

- 専修部に入り、学校、先生との関わりがありませんので子供から聞くだけの情報なので「わからない」ことが多いです。
- 申し訳ございません。学校行事等に参加することがなく学校の様子はよくわかっておりません。本人の口から学校の話も以前より少なく、可もなく不可もない感じなのかなと感じております。障がいの度合も違い色々な価値観もあると思いますがよろしく願いいたします。
- 卒業生の体験談や話を直接生徒が伺う機会を多く設けてくださると今後のことを（就職等）本人が考えるうえで有益になると思います。ご一考いただければと思います。

### ◎児童・生徒・学生

#### ★中学部

- 小学生と一緒にゆったりしてみたい。タブレットで勉強楽しい。わかりやすい。いろいろできるようにがんばっていきたい。できることを増やしていきたい。

#### ★専修部

- 卒業生で整骨院などで働いている先輩のお話を聞いてみたいです。
- 臨床室のパソコン性能が低すぎて、かなり動きが遅いそうです。普通に動くパソコンに交換してください。経穴にでてくる漢字（テスト以外では書かない。今まで見たことがない）を覚えるのはなんとかしてほしい。漢字はパソコンの変換ででてくるので、ほかのことを覚える時間にしたい。
- 他学科との交流の機会が定期的に行事に組み込めるのであればネットワークも広がり、良いのではないかと思います。
- パソコンのスペックが悪く、すぐにどこかで、止まる、落ちる、など



使いにくい。最低限のスペックは用意しないと、社会に出た時に困る。

- ・「勉強法」、例えば1時間で効率よく数科目を勉強、復習する方法を教えてください。先生がおられて、助かった。授業ではプリント学習が多いが、大きな項目毎に、学習のポイント、大局観を示してもらえるとありがたい。基本的に、学生に対して、先生方は今後の生業（なりわい）を教えるということで優位な立場である。「学生ファースト」の精神をキープしていただけたらうれしい。
- ・臨床に出ると、学生は施術をするだけになります。たまに先生方が臨床をされている様子を見学させていただき、流れなどを勉強する機会があったらいいと思います。

(学校長より)

・本校をよりよくするための貴重なご意見や具体的な提案をいただき、ありがとうございます。教職員と共有し、対応できるところは可能な範囲で対応してまいります。なお、今回のアンケートに限らず、ご心配な点やお気づきの点があれば、担任をはじめ教職員に遠慮なくご相談ください。

・ICTを活用した教育の取組みについては、高等部以外の学部で十分でないということがアンケート結果からもわかります。現在、大阪府から児童生徒学生一人一台の端末が配備されておりますので、その有効活用について引き続き検討してまいります。

・門については、昨年度の学校教育自己診断に頂戴したご意見を踏まえ対応したところですが、登下校の時間帯は安全に通れるよう全開にし、それ以外の時間帯は不審者対応の観点から閉じるよう2月7日から変更致しました。

・医療的ケアについては、今年度、初めて非常勤看護師を配置し、看護師による医療的ケアを始め、校内体制整備を進めていますが、不自由な点も多々あると思います。府のルールに基づき必要性を適切に判断しながら安全安心な医療的ケアが実施できるよう努めてまいりますので、保護者様にもご理解・ご協力をお願いいたします。なお、大阪府は障がい種別毎に支援学校を設置

しており、視覚障がい校である本校において十分に対応しきれないことがあることはご理解ください。

・進路指導については、生徒・学生並びに保護者・保証人の皆様と十分に話をし、希望する進路が実現できるよう進路指導部や担任を中心に進めているところです。進路に関し、ご心配なことがございましたら遠慮なくご相談ください。

・高等部での指導につきましては、1回できたことで終わるのではなく、①何度もできるようにという観点（再現性の観点）と②自信がいたら新しいことにチャレンジすることのバランスを考えて指導しておりますが、指導についてのご要望等は懇談の際にも遠慮なくお伝えいただき、生徒にとってよりよい学びとなるよう保護者の皆様と一緒に考えてまいりたいと思います。

・専修部では、毎年行っている進路研修会において、2年に1回卒業生の話企画しております。また、治療院見学なども行っておりますが、頂いたご意見も今後の企画の参考にさせていただきます。

・臨床室のパソコンの性能が低いことについて、管理職として把握できておらず申し訳ありませんでした。学習に支障をきたすことがないよう、対応致しました。

・専修部での教育活動についての具体的なご意見につきましては、専修部の教職員と共有し、わかり易い授業、一人ひとりの人権を尊重した指導に努めてまいります。